

丸京製菓株式会社 <https://www.marukyo-seika.co.jp/> 「世界最強のどらやきプロジェクト、和菓子を世界に輸出」

<事業者の概要>

1. 所在地：鳥取県米子市旗ヶ崎2002-2
2. 代表者：代表取締役社長 鷲見 浩生
3. 主な品目：和菓子（どらやき、焼きまんじゅう等）
4. 主な輸出先国・地域：北米（アメリカ、カナダ）、中国、香港、EU、韓国、東南アジア、豪州等20カ国以上
5. 事業概要：和菓子の製造販売業。1958年に創業し日本全国、世界20カ国以上で販売。主力商品である「どらやき」は単一工場として生産量日本一。2008年には4月4日を「どらやきの日」として日本記念日協会に登録。



世界に誇る丸京のどらやき



海外でのプロモーション活動

【輸出の取組内容】

- 1996年からアメリカにどらやきの輸出を開始し、現在は、北米（アメリカ、カナダ）、中国、香港、EU、韓国、東南アジア、豪州等20以上の国・地域に和菓子（どらやき、焼きまんじゅう等）を輸出。売上全体の約20%を占める。
- 2011年、衛生の仕組みを確立するため「ISO22000」認証を取得、2013年、輸出の国際基準に対応するため「FSSC22000」認証を取得し、食品安全管理に積極的に取り組んでいる。

【取組経緯】

- 1995年頃、原材料を輸入しているため、為替変動による利益変動の平準化を考え輸出を検討。
- 1996年、長期保存可能な氷温技術を活用し、輸出を開始。

【課題と対応方法】

- どらやきの認知度向上／現地の低価格商品との差別化
→1996年より「どらやき」をアメリカのオリエンタルランドにて試食販売を開始し、その後、中国、韓国などでも開始。海外でのプロモーションや試食販売を継続的に行い「どらやき」の認知度向上と併せて、当社の「和菓子」の美味しさを認知してもらうことで、低価格商品と差別化を図った。
- 各国の輸入規制への対応
→国内及び、現地代理店と情報交換を行い、食品規制等の情報をキャッチし開発テーマにタイムリーに取り上げていく。
「ISO22000」認証取得、「FSSC22000」認証取得等。

【実績】

輸出額(千万円)		輸出国・地域割合(%) 2024年	
2022年	53	北米(アメリカ、カナダ)	40
2023年	40	中国・香港	15
2024年	55	その他	45

【今後の事業展開】

- ✓ 大量納品に対応できる生産設備を整備し、どらやきの輸出拡大を図る。
- ✓ 現在の主要商品の品質保証期間6カ月を、1年以上にできる商品を開発し、交通網の発達していない国・地域への輸出拡大を図る。